平成19年度		事務事業評価	i表 担当	教育委員会 生涯		内	線等	3405	
事務事業名		社会教育審議会	設置事業		事業 コード	5 . 義務的	的事業		
根拠法令等		蒲郡市社会教育	審議会規則		C規則				
総合	計画での	D位置付け							
基本	目標	4.豊かな心と創	創造性を育むます	ちづくり 施策名	生派	生涯学習			
事務	事業のア	内容		·					
対象(受益者) 市及び社会教育団体に対して									
手	段	審議会を開催・	運営すること	によって					
想定す	る成果	多様な社会教育	施策を検討、	提案する。					
事業	事業の概要								
項	目	平成18年	度実績	平成19年月	平成20年度計画				
社会教育	育審議会	定数15人 実	尾施回数3回	定数15人 実	施回数2回	定数15	人 実施回	]数2回	
	DT 1/4	- "		2件		1件			
審議議	題数	3件	Ŧ						
n —									
成里:	指煙								
成果:			会議出度率						
	指標 上標名		会議出席率						
成果排		出席	会議出席率 者/定員×1	0 0					
成果指	指標名			0 0 会計 )			(単位	:千円)	
成果指	指標名 票の説明		者 / 定員 × 1		算(実績)	平成204	(単位年度予算(		
成果指	指標名 票の説明 の進捗4	<b>状況</b> (	者/定員×1 一般 2算(実績)	会計 )		平成204			
成果指标事業	指標名 票の説明 の進捗4 旨標	犬況 ( 平成18年度決	者/定員×1 一般 2算(実績)	会計 ) 平成19年度決算		平成204			
成果指标事業	指標名 票の説明 の進捗4 旨標	犬況 ( 平成18年度決	者/定員×1 一般 2算(実績)	会計 ) 平成19年度決算		平成203			
成果指 成果指 成果 成果 就果 就果 就果 就果 就果 就	指標名 票の説明 の進捗	犬況 ( 平成18年度決	者/定員×1 一般 <sup>2</sup> 算(実績)	会計 ) 平成19年度決算	)%	平成204		計画)	
成果指标事業	指標名 票の説明 の進捗 お標 に標 事業費	犬況 ( 平成18年度決 84.4	· 者/定員×1 一般 · 等(実績) · 40%	会計 ) 平成19年度決算 83.30	284			計画) 532 3,138	
成果指 成果指 成果 成果 就果 就果 就果 就果 就果 就	指標名 票の説明 の進捗4 旨標 旨標 人件費	犬況 ( 平成18年度決 84.4	· 者/定員×1 一般 · 學(実績) · 443 · 3,114	会計 ) 平成19年度決算 83.30	284		年度予算(	計画) 532 3,138	
成果指 成果指 成果 成果 就果 就果 就果 就果 就果 就	指標名 票の説明 の進捗 <sup>4</sup> 旨標 青標 貴費 人(人数)	犬況 ( 平成18年度決 84.4	者/定員×1 一般 程算(実績) 40% 443 3,114 非常勤 0.0	会計 ) 平成19年度決算 83.30	284 3,124 E常勤 0.0		年度予算(	計画) 532 3,138 動 0.0	
成果指 成果指 成果 成果 就果 就果 就果 就果 就果 就	指標の選集をはいる。 はい	犬況 ( 平成18年度決 84.4	者/定員×1 一般 程算(実績) 40% 443 3,114 非常勤 0.0	会計 ) 平成19年度決算 83.30	284 3,124 E常勤 0.0		年度予算(	計画) 532 3,138 動 0.0	
成果指 成果指 成果 成果 就果 就果 就果 就果 就果 就	指標のは標標業件数計具のは、	犬況 ( 平成18年度決 84.4	者/定員×1 一般 程算(実績) 40% 443 3,114 非常勤 0.0	会計 ) 平成19年度決算 83.30	284 3,124 E常勤 0.0		年度予算(	計画) 532 3,138 動 0.0	

3,408

3,670

3,557

一般財源

#### 事務事業内容の評価

	項			課内評価		部長評価		如,本个共四人用版上)
			目	19評価	16評価	19評価	16評価	評価の説明(問題点)
	達	成	度	1	2	1	2	18・19年度は特に提言を行わなかった。審議会や県などの 開催する研修会で社会教育活動のあり方について協議をし た。
1	経済	勃	率性	1	2	1	2	委員報酬は日額であり、出席回数に応じて支出している。 提言までは情報集約段階として捉えるべきである。
	事務	<b>势</b>	率性	2	2	2	2	時期にあった話題を議論するため、資料作成や収集、視察 先検討などは比較的短期間に、実施が可能。
	必	要	性	1	3	-	2	義務的事業
	小		計	4	9	4	8	
施	策~	ヽの゙゙゙゙゙゙	貢献度	2	-	2	-	市の実施する社会教育活動に対して、提言などをできる立 場にあるため、施策達成度では効果が高い
	合		計	6	9	6	8	

## 達成度等各項目は、0~3点までの4段階評価

総合評価	В	В	В	В	社会教育活動について、数年にわたり検討をしていくが、 年数回の会議では施策の提案を行うまでに限界がある。し かしながら、社会教育活動へのかかわりが、街づくり・人 づくりにつながるため、助言・指導を行う役割として評価 すべき。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A~Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」

委員の任期は2年間であるが、制限がないので長期間の方が多い。豊橋市が行ったように、委員の構成を見直しつつ、最長でも4年間くらいで交代していくほうが望ましい。

### 上記改善点の実施状況

特に大きな変更はされていない。近隣市町が合併により、社会教育委員が実質減少している状況にある。このため、近隣市町との情報交換も必要であり、委員個々の広域的繋がりも重要である。

#### 今後さらに改善すべき点

東海北陸・全国大会などの研修旅費が削減され、狭い情報 エリアで社会教育活動を検討することになった。このため 若手(学生)や地域との繋がりを持つ活動を積極的に視察 し、地域力を強める活動となるよう検討したい

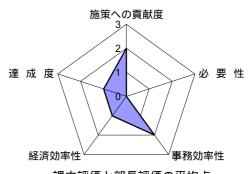
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

# 現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点